

現代韓国語の漢字表記に関する研究
—新聞記事に見られる漢字表記の派生接辞について—

趙 廷敏

キーワード： 韓国語 漢字表記 合成語 派生接辞

要旨

韓国語では現在でも難解な語彙や新語の意味的透明度を高めることを目的に限定的な漢字表記が行われている。ただ、合成語を構成要素別に分解し、その一部だけを漢字表記するなど、目的性が異なると考えられる表記例も多数発見できる。本研究では派生語において接辞のみが漢字表記される現象に注目し、韓国語コーパスから抽出した近年の新聞記事を分析することで、その目的と特徴の解明を試みた。その結果、派生接辞の漢字表記は該当接辞の意味的透明度を高める目的よりも、接辞によって作られた派生語が辞典未記載の新規語彙であることを読者に注意喚起するための、一種のマーカースとして機能している可能性があることを確認した。

0. はじめに

韓国語の表記におけるハングル専用が定着した現在でも、漢字の使用は限定的ながら続けられている。その主な目的は専門用語や新語など難解で馴染みのない語彙の意味を明確にさせるところにある。(本研究では以降、この目的を「語彙の意味的透明度を高める」と表現する。)しかし、韓国語のコーパスの一つである「21 세기 세종계획 최종성과물」(21世紀世宗計画最終成果物、韓国国立国語院刊。以下世宗コーパス)から実例を観察すると、この目的とは方向性が異なると考えられる事例が多数発見できる。合成語、特に派生語を構成要素ごとに分解した後、内容語ではなく派生接辞に漢字表記を当てるといった事例などがそれである。本研究では派生語の構成要素の内、派生接辞のみを漢字表記する現象に注目し、世宗コーパスから抽出した2000年から2003年までの近年の新聞記事を元に、その目的と特徴の解明を試みた。

1. 概要

韓国語の表記におけるハングル使用のガイドラインになっている「国語基本法 第14条第1項」に付属する「国語基本法施行令 第11条」では、以下の二つを漢字および外国の文字の使用を許可する場合と規定している。

- ① 意味を正確に伝えるために必要な場合
- ② 馴染みのない難解な専門用語、または新規の造語を使用する場合

一般の出版物でも、この①、②を目的に、限定的な漢字表記を行うことがあり、その表記には以下の二つのパターンがある。

【パターン1】 語彙 X の漢字表記

【パターン2】 語彙 X のハングル表記 (語彙 X の漢字表記)

パターン1は日本語同様、漢字が表記の主体として使われる場合である。括弧内に漢字を併記するパターン2は、漢字が表記の主体ではなく、ハングル表記の補助として使われる場合である。例えば韓国語の語彙「일본」を「日本」と表記した場合がパターン1、「일본(日本)」と表記した場合がパターン2となる。上記の①、②は韓国語の漢字表記をパターン2に限定することを前提としている規則であるが、パターン1の表記が完全に消滅しているわけではない。

以下の例文(1)～(6)でこの二つのパターンの実例を示す。実例はDVD-ROMの形で配布された世宗コーパス2010年12月修正版の新聞記事のデータ(詳細は2.1を参照)から抽出した。コーパスデータは種類と年度ごとに別のファイルに記録されている。例文の最後に記している括弧内のデータは、順番に「(新聞名、日付、ファイル名、出現行)」を意味する。日付はファイル内の情報で確認しているが、年度以下の詳細が不明な場合もある。出現行はテキストの分析に使用したEmEditor Professional Version 14.0.0の出力結果による。例文の和訳は著者によるものである。

- (1) “記者비방 투고, 경위조사후 問責결정”...趙홍보처장 “鄭차장 경질 정해진 원칙 없어”

“記者誹謗の投稿、経緯調査後に問責決定”...趙広報処長 “鄭次長の更迭に関する決定事項なし”

(朝鮮日報、2003年8月25日、7BA03A01.txt、807行)

(1)はパターン1に該当するもので、1990年代前半まで一般的だった表記スタイルでもある。パターン1は主に新聞記事の見出しに使われ、例外的に本文中でも著者名などを記す場合に使用される。現在は以下の(2)～(5)のように、該当語彙のハングル表記に続いて括弧内に語彙の漢字表記を併記するパターン2の表記が主流を占める。本研究で使用した新聞記事のデータにおける両パターンの出現数は、パターン1が6516例、パターン2が35422例であり、出現比は約1:5.4であった。

- (2) 김대중(金大中) 대통령은 30일부터 2박3일간 일본을 방문, 월드컵 결승전을 참관하고, 7월 1일 고이즈미 준이치로(小泉純一郎) 일본 총리와 정상회담을 갖는다고 박선숙(朴仙淑) 청와대 대변인이 24일 발표했다. 金大中大統領が30日から2泊3日の予定で日本を訪問し、W杯の決勝戦を参観し、7月1日には小泉純一郎日本総理と首脳会談を行うと朴仙淑青瓦臺スポークスマンが24日発表した。
(朝鮮日報、2002年、6BA02A06.txt、1123行)
- (3) 산 잘 타는 사람은 따로 있다. 요령은 ‘보행법’이다. 잘 익혀 두면 숨도 덜 차고, 힘도 덜 들이면서 훨씬 수월하고 가볍게 산을 오를 수 있다. 지금부터 그 비전(秘傳)을 소개한다.
山登りが上手な人は他にいる。コツは‘歩行法’だ。熟達すると息切れもし難くなって、疲れることなく、より簡単に山登りができるようになる。これからその秘傳を紹介しよう。
(東亜日報、2000年6月1日、5BA01B07.txt、1003行)
- (4) 다빈치는 초기에 인간의 미(美)에 대한 과학적 법칙을 찾으려 했으나 곧 그런 시도를 중단하고 인체를 실물에 최대한 가깝게 묘사하기 시작했다. ダヴィンチは最初、人間の美に関する科学的法則を探そうとしたが、すぐにその試みをやめ、実物に酷似させた人体描写を始めた。
(東亜日報、2003年5月30日、BRAB0173.txt、2099行)
- (5) 그 역사는 짧게는 통일 이후를 내다보아야 하는 ‘백년의 계획’이고, 길게는 국가의 영속적 발전을 기(期)하는 ‘천년의 계획’이다.
その歴史は短期的には(韓国と北朝鮮の)統一以降を見据えなければならぬ‘百年の計画’であり、長期的には国家の永続的發展を期する(目標とする)‘千年の計画’である。
(朝鮮日報、2003年12月15日、7BA03A12.txt、8718行)

(2)는 고유명사, (3), (4)는 일반명사, (5)는 한자어 동사어간「기」와 고유어의 접미사「~하다」로 구성된 동사「기하다」의 활용형「기하는」의 어간부분을 한자 표기한 예이다. 희에 이하의(6)와 같이 어휘의 한자 표기와 어휘에 해당하는 영어 단어가 함께 병기되는 예도 있다. 과학이나 경제 등, 기사에서 특정 분야의 전문 용어가 사용되는 경우에 나타나는 표기 예이다.

- (6) 이 기본 에너지에 대응하는 물체를 ‘양자(量子.quantum)’라고 한다.
この基本エネルギーに対応する物体を‘量子(量子.quantum)’という。
(中央日報、2002年、6BA02D18.txt、744行)

以上のように、現代韓国語における漢字表記は、内容語の意味理解を手助けする目的で限定的に使用される補助文字の性格が強い。このような表記例の中で、語彙の種類が合成語、特に派生語である場合、語彙を構成要素別に分解し、一部の構成要素だけを漢字表記する現象が観察される。

- (7) ‘간접투자 상품의 꽃’이라고 하는 ‘일임(一任)형 랩 어카운트’가 이르면 오는 20일부터 판매된다.
 ‘間接投資商品の花形’と言われる‘一任型ラップアカウント’の販売が早ければ次の20日から始まる。
 (朝鮮日報、2003年10月15日、7BA03A05.txt、3677行)
- (8) “민감한 역사적 사건을 다루면서도 그것을 전경(前景)화하지 않고 배면(背面)에 놓는 서술방법이 매우 효과적”(유중호)이라고 평했다.
 “敏感な歴史的 사건을扱いながらもそれを前景化せず背面に置く叙述方法が大いに効果的”(ユ・ジョンホ)であると評した。
 (朝鮮日報、2003年1月15日、7BA03A06.txt、105行)
- (9) 인터내셔널 헤럴드 트리뷴(IHT·14일)에 따르면, 미국은 1991년 걸프전 때 후세인이 미제(美製) 야영(野營)용 트레일러 차량을 사용하는 것을 알고, 이를 추적해 폭격하려고 했다.
 인터ナショナル・ハラルド・トリビューン(IHT・14日)によると、アメリカは1991年の湾岸戦争のとき、フセインが米国製の野営用トレーラーを使用していることを知り、これを追跡し爆撃しようとした。
 (朝鮮日報、2003年3月15日、7BA03A09.txt、1090行)

(7)~(9)は派生語の構成要素の内、内容語が漢字表記された例である。(1)~(6)と同様、内容語の意味的透明度を高めることが目的であると考えられる。これとは逆に、以下の(10)~(15)のように派生接辞を漢字表記している例も多数確認できる。

- (10) 그 결과 사회는 반(反)자유주의로 전락할 것이라고 후쿠야마는 경고한다.
 その結果、社会は反自由主義に転落するであろうと福山は警告する。
 (朝鮮日報、2003年1月25日、7BA03A06.txt、521行)
- (11) 탈(脫)권력과 정치적 중립이 개혁의 출발점이 돼야 할 KBS가 또다시 셋길로 빠지지 않느냐 하는 생각에서다.
脱権力と政治的中立が改革の出発点になるべき KBS가 またもや道から逸れてしまうのではないかという心配からだ。
 (東亜日報、2003年6月30日、7BA03B01.txt、6289行)
- (12) 지난해 4월 일본 소니사(社)는 주식교환을 통해 일본 아이와사를 자회사로

편입했다.

去る 4 月、日本のソニー社は株式交換により日本アイワ社を子会社に編入した。

(東亜日報、2003 年 7 月 10 日、7BA03B03.txt、7630 行)

- (13) 특히 주 5 일 근무제가 확산되고 폭탄주의 부작용이 불거지면서 기업들의 회식문화가 급속히 ‘탈(脫)알콜화(化)’하고 있으며, 회식 날짜를 미리 알려주는 ‘회식 예고제’ 등이 도입되고 있다.

特に週 5 日勤務制が普及し、暴飲習慣のデメリットが顕著になるにつれ、企業の飲み会文化が急速に‘脱アルコール化’しており、飲み会の予定を事前に告知する‘飲み会予告制’などが導入されつつある。

(朝鮮日報、2002 年、6BA02A29.txt、514 行)

- (14) 미국의 텔레비전을 통해 보는 대(對)이라크전(戰)은 미국이 그동안 억눌러 왔던 군사력의 분출이며 새 군사무기의 임상실험 같은 것이라는 인상을 줄 뿐이다.

アメリカのテレビを通して見る対イラク戦は、今まで押し込まれていたアメリカの軍事力の噴出であり新しい軍事兵器の臨床実験であるかのような印象を与えるだけだ。

(朝鮮日報、2003 年 3 月 25 日、7BA03A12.txt、2746 行)

- (15) 과일, 동남아 6 개국 순방외교 / 對테러戰 ‘제 2 전선’ 시찰

パウエル、東南アジア 6 ヶ国順訪外交 / 対テロ戦の‘第 2 戦線’を視察

(東亜日報、2002 年、6BA02B20.txt、554 行)

(7)~(15)の例で見られる「合成語を分解する」、(10)~(15)の例で見られる「接辞に注目する」といった表記意識は、以下の(16)~(18)の例でより強く表れている。(16)の「대역사」(大役事)、(17)の「반미」(反米)、(18)の「군자금」(軍資金)はいずれも韓国の国立国語院が編纂した標準国語大辞典⁽¹⁾(以下辞典)に一語として記載されており、合成語としての性格は弱まっている語彙であるが、(16)~(18)の例ではこれらを形態素単位で分解し、漢字表記を行っている。

- (16) 서해안 9 곳과 남해안 1 곳 등 10 곳에 대규모 간척사업을 일으키는 ‘국가적 대(大)역사(役事)’ 구상을 설득하기 위해서였다.

西海岸の 9 ヶ所と南海岸の 1 ヶ所など 10 ヶ所に大規模埋立地を作る‘国家的 大役事’構想を説得させるためであった。

(中央日報、2002 年、6BA02D18.txt、1161 行)

- (17) 기독교단체 5 만여명 서울시청앞서 집회 “美軍철수 반대...反미 자세를”

キリスト教団体の約 5 万名、ソウル市庁前で集会“米軍撤退に反対...反米に齒

止めを”

(東亜日報、2002年、7BA03B02.txt、366行)

- (18) —당신은 ‘인생 50년 계획’에서 ‘30대에 군(軍)자금을 마련해 40대에 큰 승부에 나선다’고 했는데.

—あなたは‘人生50年計画’で‘30代に軍資金を貯め40代に大勝負に挑む’とおっしゃったが。

(朝鮮日報、2002年5月31日、6BA02A04.txt、313行)

本研究では合成語を構成要素ごとに分解、表記する現象の中でも、漢字表記された語彙の意味的透明度を高めるという基本的な目的とは方向性が異なると考えられる(10)～(18)の例に注目し、パターン1、パターン2の漢字表記例全てから類似の例を収集、分析することでその目的と特徴の解明を試みた。

尚、韓国語の漢字表記に関しては진철용(ジン・チョルヨン)(2005)⁽²⁾、윤석권(ユン・ソクォン)(2004)⁽³⁾、김선영(キム・ソンヨン)(2006)⁽⁴⁾など、学生を被験者とした漢字教育の成果を報告する研究は多数存在するものの、母語話者の使用実態や現状については 국립국어원(国立国語院)(2002)、국립국어원(国立国語院)(2005a)、국립국어원(国立国語院)(2005b)などの一部の計量的な研究調査が表記手段としての漢字の使用が激減していることを報告している程度である。

2. 分析

2.1 例文抽出の母集団について

漢字表記の実例を抽出するため、世宗コーパスに収録されている現代語の新聞記事のデータの内、「조선일보(朝鮮日報)」、「중앙일보(中央日報)」、「동아일보(東亜日報)」の2000年から2003年までのデータを使用した。この3紙のデータを実例抽出の母集団に選択した理由は以下のとおりである。

- ① 新聞は大量に発行され最も入手しやすい活字媒体であり、日刊紙では発行部数において「朝鮮日報」、「中央日報」、「東亜日報」の順にトップ3であること⁽⁵⁾。
- ② 母集団の大きさに極端な違いがないこと。世宗コーパスではコーパスの大きさを「語節」という単位で表している。語節は韓国語のわかち書きの単位であり、日本語の文節に相当する。
- ③ 3紙ともに記事の作成に漢字を積極的に使用していること。1988年の創刊以来、ハングル専用をモットーとしている「한겨레신문(ハンギョレ新聞)」の2000年から2003年までのデータと共時的に比較した場合、漢字表記例の出現数の3紙平均は「ハンギョレ新聞」の約85倍である。「ハンギョレ新聞」の場合、確認された165の漢字表記例に韓国語の普通名詞、動詞・形容詞語幹、接辞、助詞などは存在しない。

「ハンギョレ新聞」における漢字表記は一部の固有名詞（人名・地名・社名・商品名など）や外国語（日本語・中国語）の語彙、古典や他紙からの引用などに限られている。

- ④ 表記におけるハングル専用が定着し、従来の漢字交じり書き（1.のパターン1）とは異なる性格を見せる近年（2000年～2003年）の複数紙分のデータを共時的に確認することが可能であること。

以下の<表1>、<表2>に母集団に関する基本データを示す。

<表1> 母集団の大きさ、漢字表記例の計、派生接辞のみの漢字表記例の数

新聞名	ファイル数	総語節数	漢字表記例	派生接辞		備考
				接頭辞	接尾辞	
朝鮮	62	1,721,672	13,881	383	251	母集団
中央	52	1,070,895	12,186	184	47	
東亜	53	1,848,658	15,871	356	238	
ハンギョレ	62	1,755,778	165	-	-	比較用

<表2> 派生接辞以外の漢字表記例の内訳

新聞名	名詞				動詞語幹	形容詞語幹	冠形詞	その他
	普通名詞	固有名詞		動詞性名詞				
		人名	その他					
朝鮮	4511	5787	2033	160	7	13	169	567
中央	2162	8510	832	71	1	7	62	310
東亜	3811	8766	2179	57	5	6	132	321

<表2>の「動詞性名詞」は動詞化の接尾辞「～하다」、「～되다」、「～시키다」の活用形が接続した場合をカウントした。「冠形詞」は名詞を修飾する自立語で、日本語の連体詞に相当する。「고(故)」、「전(前)」などが確認でき、活用はしない。「その他」は外国語彙、漢数字、助数詞、非語彙的使用（文の内容と直接関わらない、図式や写真の「上」、「中」、「下」の表示や「漢字「山」のような形～」など形を描写するのに漢字を用いる場合など）、漢文（主に古典からの引用）などを含む。

<表2>で確認できるように、3紙の記事データから抽出した漢字表記例は動詞語幹・形容詞語幹に比べ名詞の漢字表記が圧倒的に多い特徴を持つ。漢字表記例は普通名詞よりも固有名詞が多く、固有名詞の中では漢字表記可能な韓国・日本・中国・台湾・ベトナム・シンガポールの名が最も多く観察される。新聞記事における漢字表記の最優先目的が個人識別にあることを示唆する結果と言える。

2.2 分析対象の派生接辞について

以下の【条件1】、【条件2】をすべて満足させる、<表1>の派生接辞の漢字表記例から抽出可能な派生接辞を本研究で分析の対象とした。

【条件1】各紙にて出現数10以上で分析に必要な一定量の出現数を確保できること

【条件2】「朝鮮日報」、「中央日報」、「東亜日報」に共通して出現すること

<表3> 分析対象の派生接辞

漢字表記	ハングル表記	種類	出現数			
			朝鮮	中央	東亜	計
反	반	接頭辞	69	48	74	191
對	대	接頭辞	58	29	46	133
非	비	接頭辞	42	27	38	107
新	신	接頭辞	31	20	35	86
脫	탈	接頭辞	23	14	18	55
先	선	接頭辞	23	11	35	69
社	사	接尾辞	53	10	49	112

2.3 分析対象の個別例の分析について

<表3>の派生接辞について主に以下の二つの視点から分析を行った。

まず、同音異義語を回避する目的の漢字表記である可能性について検討した。漢字表記の目的があくまでも該当接辞の意味的透明度を高める基本的な目的にあると考えた場合である。接辞は難解な専門用語や新語ではないため、競合する同一品詞の同音異義語を回避する目的が予想された。

次に、辞典未記載の新規派生語であることを表すための一種のマーカである可能性について検討した。分析対象の接辞が結合した語彙が辞典に記載されているか否かを確認することを中心に調査を行った。辞典記載語と非記載語の比を算出することで、マーカとしての役割の可能性を計量的に確認した。

2.3.1 반(反)

辞典による接頭辞「반(反)」の定義は以下のとおりである。

<p>「1」 ((일부 명사 앞에 붙어)) ‘반대되는’의 뜻을 더하는 접두사. ¶ 반비례/반우주/반인력/반작용.</p> <p>「2」 ((고유 명사를 포함하는 대다수 명사 앞에 붙어)) ‘그것에 반대하는’의 뜻을 더하는 접두사.</p>
--

¶ 반독재/반체제. 「1」 ((一部名詞の前に結合し)) ‘反対の’の意味を加える接頭辞。 ¶ 反比例、反宇宙、反引力、反作用 「2」 ((固有名詞を含む殆どの名詞と結合し)) ‘それに反対する’の意味を加える接頭辞。 ¶ 反独裁、反体制
--

2.3.1.1 同音異義語を回避する目的の漢字表記である可能性

辞典で確認可能な同音異義の接頭辞は「반(半)」の1件であった。「반(半)」の漢字表記例の出現数は「朝鮮日報」6例、「中央日報」0例、「東亜日報」5例の全11例であった。これは「반(反)」の全出現数191例の約5.8%である。「반(半)」に結合する語彙は11例すべて普通名詞である。「半分」を意味することから「반(反)」のように特定の人物・国家・地域・民族・宗教・組織・団体・制度・法律・思想・製品などを指す固有名詞とは結合できない。対照的に「반(反)」は全191例中102例(約53%)もがこの類の固有名詞と結合している。

ハングル表記「반」は接頭辞の位置では「反」か「半」のどちらかの意味を表すことになり、出現頻度の差や結合語彙の性質の違いも考慮すると、接頭辞同士が漢字の併記を必要とするほど意味的な競合状態にある可能性は低いと考えられる。

2.3.1.2 辞典未記載の新規派生語を示すマーカである可能性

「반(反)」の漢字表記例の内、派生語全体が一語として辞典に記載されていたのは「반정부」(反政府)7例、「반민주」(反民主)2例、「반민주적」(反民主的)1例、「반독점」(反独占)4例、「반덤핑」(反 dumping)2例、「반핵」(反核)1例、「반민족적」(反民族的)2例の計19例であり、「반(反)」の全191例の約11%を占めた。

2.3.2 대(對)

辞典による接頭辞「대(對)」の定義は以下のとおりである。

((고유 명사를 포함하는 대다수 명사 앞에 붙어)) ‘그것을 상대로 한’ 또는 ‘그것에 대항하는’의 뜻을 더하는 접두사. ¶ 대국민 사과문/대북한 전략.
((固有名詞を含む殆どの名詞の前に結合し)) ‘それを相手にした’または‘それに対抗する’の意味を加える接頭辞。 ¶ 対国民 謝罪文、対北朝鮮 戦略

2.3.2.1 同音異義語を回避する目的の漢字表記である可能性

辞典で確認可能な同音異義の接頭辞は「대(大)」の1件であった。漢字表記の出現数は「朝鮮日報」3例、「中央日報」1例、「東亜日報」5例の全9例であった。これは「대(對)」の全出現数133例の約6.8%である。「대(大)」に結合する語彙は全9例中3例が固有名詞(国名)であり、残り6件は普通名詞であった。「대(對)」の場合、全133例中、固有名詞は人名4例、国名を含む地名61例、病名1例、組織名1例の計67例、残り66例が普通名詞であった。2.3.1の「반(反)」とは異なり、結合する語彙の種類に大きな違いがないため、結合語彙の種類から「대(對)」と「대(大)」を明確に区別することはできない。

ハングル表記「대」は接頭辞の位置では「對」か「大」のどちらかの意味を表すことになり、結合語彙の性質に明確な違いは確認できなかった。全10例を確認した「對国民」(表記は「대(對)국민」、「대(對) 국민」、「對국민」の3種類を確認)の場合、ハングル表記の「대국민」が「大国民」(偉大なる国民という意味)として辞典に記載されていることなどから、接頭辞同士が意味的な競合状態を解消するため漢字の併記を必要とする度合は2.3.1の「반(反)」よりは高めと考えられる。但し、出現頻度には133例対9例と大きな差が存在する。

2.3.2.2 辞典未記載の新規派生語を示すマーカである可能性

133例の漢字表記例すべてが辞典未記載の新規派生語である。2.3.1の「반(反)」のように一語として辞典に記載されている語彙を分解し表記した例は確認できなかった。

2.3.3 비(非)

辞典による接頭辞「비(非)」の定義は以下のとおりである。

((일부 명사 앞에 붙어)) ‘아님’의 뜻을 더하는 접두사. ¶ 비공식/비무장/비민주적/비인간적/비생산적/비업무용.
((一部的名詞の前に結合し)) ‘異なる’の意味を加える接頭辞。 ¶ 非公式、非武装、非民主的、非人間的、非生産的、非業務用

2.3.3.1 同音異義語を回避する目的の漢字表記である可能性

漢字表記が可能な同音異義の接頭辞は存在しない。辞典から固有語の接頭辞「비」が1件確認できるが、これは古語であり現代語としての用法は存在しない。ハングル表記「비」が接頭辞として出現する場合、現代語の漢字語および固有語の同音異義語がそもそも存在しないため、同音異義関係を回避する目的の漢字表記を行う必要性はない。後続音節との結合の結果として生じる可能性のある形態素区切りの誤認を防ぐことを目的としている可能性は存在するが、全107例の内、これに該当する例は確認できなかった。

た。

2.3.3.2 辞典未記載の新規派生語を示すマーカーである可能性

「비(非)」の漢字表記例の内、派生語全体が一語として辞典に記載されていたのは「비정규직」(非正規職)2例、「비과세」(非課税)3例、「비대칭」(非対称)1例、「비이성적」(非理性的)1例、「비인간적」(非人間的)1例の計8例であり、「비(非)」の全107例の約7.5%を占めた。

2.3.4 신(新)

辞典による接頭辞「신(新)」の定義は以下のとおりである。

((일부 명사 앞에 붙어))‘새로운’의 뜻을 더하는 접두사.

¶ 신세대/신경제/신기록/신세계.

((一部名詞の前に結合し))‘新しい’の意味を加える接頭辞。

¶ 新世代、新経済、新記録、新世界

2.3.4.1 同音異義語を回避する目的の漢字表記である可能性

漢字表記が可能な同音異義の接頭辞は存在しない。固有語の接頭辞も存在しない。ハングル表記「신」が接頭辞として出現する場合、漢字語および固有語の同音異義語がそもそも存在しないため、同音異義関係を回避する目的の漢字表記を行う必要性はない。但し、全86例の中「신(新)부촌」(新富村、中央日報、2000年6月15日、5BA01D06.txt、1377行。「富村」は経済的に豊かな街を意味する。)の1例に関しては、ハングルのみの表記であった場合「신/부촌」とも「신부/촌」(「신부」は「神父」、「新婦」などに解釈可)とも解釈可能なため、僅かながら後続音節との結合の結果として生じる可能性のある形態素区切りの誤認を防ぐことを目的としている可能性が考えられる。

2.3.4.2 辞典未記載の新規派生語を示すマーカーである可能性

「신(新)」の漢字表記例の内、派生語全体が一語として辞典に記載されていたのは「신기술」(新技術)、「신사업」(新事業)、「신우익」(新右翼)、「신조류」(新潮流)、「신체제」(新体制)が各1例の計5例であり、「신(新)」の全86例の約5.8%を占めた。

2.3.5 탈(脫)

辞典による接頭辞「탈(脫)」の定義は以下のとおりである。

((일부 명사 앞에 붙어))‘그것을 벗어남’의 뜻을 더하는 접두사.

¶ 탈공해/탈냉전/탈대중화.

((一部名詞の前に結合し))‘それを離れる (または逃れる)’の意味を加える接頭辞。

¶ 脱公害、脱冷戦、脱大衆化

2.3.5.1 同音異義語を回避する目的の漢字表記である可能性

漢字表記が可能な同音異義の接頭辞は存在しない。固有語の接頭辞も存在しない。ハングル表記「탈」が接頭辞として出現する場合、漢字語および固有語の同音異義語がそもそも存在しないため、同音異義語を回避する目的の漢字表記を行う必要性はない。

2.3.4 のように、後続音節との結合の結果として生じる可能性のある形態素区切りの誤認を防ぐことを目的に関しては、全 55 例の内、これに該当する例は確認できなかった。

2.3.5.2 辞典未記載の新規派生語を示すマーカーである可能性

「탈(脱)」の漢字表記例の内、派生語全体が一語として辞典に記載されていたのは「탈냉전」(脱冷戦)が 2 例確認されたのみであり、「탈(脱)」の全 55 例の約 3.6%を占めた。

2.3.6 선(先)

辞典による接頭辞「선(先)」の定義は以下のとおりである。

「1」 ((일부 명사 앞에 붙어))‘앞선’의 뜻을 더하는 접두사.

¶ 선보름/선이자.

「2」 ((일부 명사 앞에 붙어))‘이미 죽은’의 뜻을 더하는 접두사.

¶ 선대왕/선대인.

「1」 ((一部名詞の前に結合し))‘前倒しの (または先の)’の意味を加える接頭辞。

¶ 月の前半 (보름=15日)、先利子 (前取り利息)

「2」 ((一部名詞の前に結合し))‘既に亡くなった’の意味を加える接頭辞。

¶ 先大王、先大人

2.3.6.1 同音異義語を回避する目的の漢字表記である可能性

漢字表記が可能な同音異義の接頭辞は存在しない。辞典から「下手な」、「不十分な」の意味を持つ固有語の接頭辞「선」が 1 件確認できるのみである。普通名詞としか結合しない固有語の接頭辞「선」とは結合語彙の種類が異なり (3.3.1 を参照)、同音異義関係の漢字語の接頭辞も存在しないため、同音異義語を回避する目的の漢字表記を行う必要性はない。2.3.4 のように、後続音節との結合の結果として生じる可能性のある形態素区切りの誤認を防ぐ目的に関しては、全 69 例の内、これに該当する例は確認できなかった。

2.3.6.2 辞典未記載の新規派生語を示すマーカーである可能性

「선(先)」の表記例の内、派生語全体が一語として辞典に記載されていたのは「선이자」(先利子)の1例のみであり、「선(先)」の全69例の約1.5%を占めた。

2.3.7 사(社)

辞典による接尾辞「사(社)」の定義は以下のとおりである。

((일부 명사 뒤에 붙어))‘회사(會社)’의 뜻을 더하는 접미사. ¶ 신문사/잡지사/출판사/통신사.
((一部名詞の後に結合し))‘会社’の意味を加える接尾辞。 ¶ 新聞社、雑誌社、出版社、通信社

2.3.7.1 同音異義語を回避する目的の漢字表記である可能性

2.3.1～2.3.6とは異なり、「사(社)」には同じ接尾辞であり漢字表記可能な複数の同音異義語が存在する。<表4>は辞典で確認した「사」と表記可能な同音異義語と新聞記事のデータにおけるそれぞれの漢字表記の出現数である。

<表4> 「사(社)」の同音異義語 (接尾辞)

	士	史	寺	事	師	詞	辭
朝鮮日報	0	4	0	0	0	0	0
中央日報	0	1	0	0	0	0	0
東亜日報	0	9	0	0	0	0	0
計	0	14	0	0	0	0	0

7種類の同音異義語の内、漢字表記例が確認できたのは「사(史)」の14例みであり、これは「사(社)」の全出現数112例の約12.5%である。「사(史)」に結合する語彙は全14例中、固有名詞では韓国の社名が1例、国名が5例であり、残りの8例は普通名詞であった。「사(社)」の場合、全112例中、固有名詞の53例すべてが外国語の企業名であった。残りは普通名詞20例、数字39例であり、漢字表記における実質的な競合相手の「사(史)」とは結合語彙の種類において異質性が際立つ。

同音異義関係の回避以外では、「사(社)」と結合する固有名詞53例すべてが外国語の社名であることから、派生語の最終音節の「사」までを外国語の一部として誤認させないための目的が考えられる。但し、以下の(19)～(21)のように記号で社名を囲むかローマ字で表記を行うなど、誤認を防ぐための追加的な記述が加えられている場合も確認できる。

- (19) 북한 북동부 지역에서 유전 탐사작업을 벌이고 있는 싱가포르의 ‘사버린 벤처스’사(社)는 29일 이 지역에서 약 5000만 배럴의 원유를 생산할 수 있을 것으로 기대하고 있다고 밝혔다.
北朝鮮北東部で遺伝探査作業を行っているシンガポールの‘サバリンベンチヤーズ’社は29日この地域から約5000万バレルの原油生産を期待していると述べた。
(朝鮮日報、2002年、6BA02A32.txt、882行)
- (20) 체코의 건설회사인 MAO 사(社) 오토 틀루치 사장은 “세계 경제가 어렵다고 하지만 체코 등 동유럽은 괜찮다”면서~
チェコの建設会社であるMAO社のオット・トゥルーチ社長は“世界経済が不況とはいえがチェコなどの東ヨーロッパは大丈夫だ”と述べ~
(朝鮮日報、2003年3月25日、7BA03A05.txt、2220行)
- (21) 다국적 기업 악조(AKZO)사(社)와 합작 설립한 IPK 에 부산공장을 매각했다.
多国籍企業アクゾ(AKZO)社と共同設立されたIPKに釜山工場を売却した。
(東亜日報、2002年、6BA02B14.txt、1661行)

2.3.7.2 辞典未記載の新規派生語を示すマーカである可能性

112例の漢字表記例すべてが辞典未記載の新規派生語である。辞典に一語として記載されている語彙を分解し表記した例は確認できなかった。

3. 考察

3.1 同音異義語を回避する目的の漢字表記である可能性について

本研究で分析を行った7種類の接辞の内、漢字で表記可能な同品詞の同音異義語が存在するのは「반(反)」、「대(對)」、「사(社)」の3種類であった。

<表 5> 同音異義関係にある接辞と結合語彙の出現数

分析対象	結合語彙の出現数	同音異義語	結合語彙の出現数
반(反) 全 191 例	固有名詞 > 普通名詞	반(半) 全 11 例	普通名詞
대(對) 全 133 例	固有名詞 ≒ 普通名詞	대(大) 全 9 例	普通名詞 > 固有名詞
사(社) 全 112 例	固有名詞 (外国語) > 数字 > 普通名詞	사(史) 全 14 例	普通名詞 > 固有名詞

<表 5>で確認できるように、「반(反)」、「대(對)」、「사(社)」のすべてが競合する

同音意義関係の接辞より出現数が多く、結合する語彙の優先順位も異なる。漢字表記に頼らずとも意味理解に支障を来さない条件が揃っているとも考えられる。そもそも同一品詞の同音異義語が存在しないケースもあることから、漢字表記が必ずしも接辞そのものの意味的透明度を高めるだけを目的としていない可能性を示唆している。結合する語彙の性格が異なることは、韓国語の文章において、隣接した二つの語節では先行語節の最後の形態素と後続語節の最初の形態素間に密接な文脈的関連が存在し、この共起情報の利用だけでもかなりの重意性が解消できると論じている이하규(イ・ハギョ)(1997)に通じる特徴ともいえる。

結合する語彙との音節の連続による形態素区切りの誤認を防ぐ目的での漢字表記である可能性については、「신(新)」の1例で若干の可能性を確認したのみであり、やはり主な目的であるとは考え難い。

3.2 辞典未記載の新規派生語を示すマーカである可能性について

以下の<表 6>からは分析対象の派生接辞の漢字表記例において、約9割以上が辞典に記載されていない新規の派生語である事実を確認できる。

<表 6> 分析対象接辞の漢字表記例の辞典記載率

	辞典未記載語	辞典記載語	計
반(反)	172 (89%)	19 (11%)	191 (100%)
대(對)	133 (100%)	0 (0%)	133 (100%)
비(非)	99 (92.5%)	8 (7.5%)	107 (100%)
신(新)	81 (94.2%)	5 (5.8%)	86 (100%)
탈(脫)	53 (96.4%)	2 (3.6%)	55 (100%)
선(先)	68 (98.5%)	1 (1.5%)	69 (100%)
사(社)	112 (100%)	0 (0%)	112 (100%)

この結果は、接辞の漢字表記が読者に新規の派生語の出現を知らせ、以降の読解における注意を促す目的の一種のマーカである可能性を示唆している。

ただ、漢字表記をマーカと解釈できたとしても、それは同一著者による文章（本研究の場合は特定の記者が書いた記事）の中で発生する一過性の現象であることに注意する必要がある。韓国語の漢字表記では、特定の文章の中に同じ語彙が複数回出現する場合、最初に一回だけ漢字表記が行われ、以降はハングルのみ表記に戻る傾向がある。本研究が対象に選んだ派生接辞に限らず、漢字表記全般に見られる特徴であり、漢字併記の目的が読者への注意喚起にあることを示唆している。以下(22)は経済用語の「先物」、「差益」、(23)は人名、(24)は派生接辞、(25)は中国の地名（外国語）が文章の中に複数回出現した実例である。最初に漢字表記が提示された以降は同一語彙の漢字表記が繰り返

返されていないことが確認できる。

(22) 선물(先物)시장은 적은 돈으로 큰 배팅을 할 수 있다는 속성 때문에 탐욕과 두려움이 보통의 주식시장보다 더욱 심하고 오버도 자주 나타난다. 하지만 필자처럼 이른바 무위험 차익(差益) 거래를 전문으로 하는 펀드매니저는 이 같은 투자자들의 탐욕과 두려움을 역이용해 이익을 챙긴다. 투자자들의 욕심이 지나치면 주가지수 선물 가격은 KOSPI200 지수보다 1 포인트 이상 높은 곳으로 날아가기도 하고, 반대로 두려움이 도를 넘으면 선물 가격은 KOSPI200 지수보다 1 포인트 이상 아래로 곤두박질치기도 한다. 이처럼 선물 가격과 현물 가격(KOSPI200 지수)의 차이(전문용어로는 베이스라고 함)가 과다하게 커지면 무위험으로 차익을 얻을 수 있는 기회가 생기고 필자는 바빠지기 시작한다. 최근 주식시장의 불확실성이 높아지면서 베이스가 +0.6 에서 0.5 사이에서 빈번히 움직여 차익 거래 기회가 자주 발생했다. 한 예로 필자는 지난 12 일 베이스가 +0.3 이 되자 선물 가격이 현물 가격에 비해 고평가됐다고 판단, 선물 15 계약을 매도함과 동시에 7 억원 규모의 현물 포트폴리오(주가지수와 똑같이 움직이게 만든 투자종목들의 꾸러미)를 매수했다. 그러나 1 주일 후인 7 월 19 일에는 베이스 0.1 수준이 돼 이번에는 현물이 고평가됐다고 판단, 현물 포트폴리오를 매도하고 선물 15 계약을 매수하여 포지션을 청산했다. 이 거래를 통해 선물 1 계약 기준으로 0.4 포인트, 합계 6 포인트의 차익을 얻었다.

(朝鮮日報、2002年7月31日、6BA02A29.txt、326行~333行)

(23) 그동안 김대중(金大中) 대통령과 노무현(盧武鉉) 후보를 강하게 비판해온 장 대표는 “노무현씨가 대통령이 되는 것은 적절치 못하다는 생각에 변함이 없으나, 민주당의 대통령 후보는 민주당이 결정해야 한다고 생각한다”고 말했다.

(朝鮮日報、2002年7月4日、6BA02A23.txt、179行)

(24) 이 기구는 앞으로 ‘반(反)이회창, 반 노무현’ 신당으로 발전할 가능성이 있어 주목되고 있다.

(朝鮮日報、2002年7月4日、6BA02A23.txt、162行)

(25) 중국 북서부 신장(新疆) 웨이우얼 자치구의 카스(喀什)지구 자스(伽師)현과 바추(巴楚)현 인근에서 24 일 리히터 규모 6.8 의 지진이 발생, 최소한 258 명이 숨지고 1000 여명이 부상했다고 관영 신화통신이 보도했다. 이날 지진은 오전 10 시 3 분(한국시각 오전 11 시 3 분)쯤 베이징(北京)에서 2900 여 km 떨어진 자스현과 바추현 일대에서 발생했으며, 바추현 일대에서만 가옥과 학교 건물 1000 여채가 무너지거나 파손됐다.

지진피해는 진앙지에서 가까운 자스와 바추를 비롯해 아라건(阿拉根) 등의 지역에서 심했고, 특히 학교 건물이 무너져내리는 바람에 수업 중이던 학생들이 다수 희생됐다.

(朝鮮日報、2003年2月25日、7BA03A09.txt、855行~857行)

3.3 意味の拡張について

最初想定していた 3.1、3.2 の可能性について分析を行う過程で、「선(先)」と「사(社)」は他の接辞と一部異なる特徴を示していることを確認した。

3.3.1 「선(先)」の副詞化

実例の分析から「선(先)」は 2.3.5 までの他の接辞とはかなり性格が異なることが分かった。まず、全 69 例中、接頭辞「선(先)」が辞典の定義どおりの意味を表し、名詞と結合する例は以下の(26)~(28)の 3 例だけであった。

- (26) 고객 돈으로 우량 할인채권을 사들이고 선(先)이자를 장외옵션 상품에 투자하는 주가지수연동형 정기예금이나 주가연계채권(ELS)이 대표적이다. 顧客の資金で優良の割引債券を買い込み、先利子を場外オプション商品へ投資する株価指数連動型定期預金か株価連携債権(ELS)が代表的である。

(東亜日報、2003年3月20日、7BA03B03.txt、2693行)

- (27) 해외 인기 신간이 국내에 번역 출간될 경우 선(先)인세는 일반적으로 수만달러에서 수십만달러에 이르는 것으로 알려졌다. 海外の人気新刊が国内へ翻訳出版される場合、先印税は一般的に数万ドルから数十万ドルに及ぶと言われている。

(東亜日報、2003年6月20日、BRAB0173.txt、2357行)

- (28) ~“재신임을 묻기 전에 후보를 먼저 사퇴해야 한다”는 ‘선(先) 사퇴론’도 일각에서 제기됐다. ~“再信任を問う前に先に候補を辞退しなければならない”という‘先辞退論’も一部から提起された。

(朝鮮日報、2002年、6BA02A09.txt、361行)

(26)~(28)を除く残り 66 例は、形態上は名詞であるが文脈から動詞化接辞の「~하다」を追加することで「先に~をする」と解釈可能な動詞性名詞（以下 VN）または名詞の連続からなる句が結合した例であった。以下の(29)~(35)にその実例を示す。

【VN の結合例】

- (29) 화물연대 파업 / 해결 실마리 풀릴까-정부·업계 “先복귀”... 화물연대 압박

貨物連帯ストライキ/解決の糸口は見つかるか-政府・業界 “先復帰”...貨物連帯を圧迫

(朝鮮日報、2003年8月25日、7BA03A02.txt、5999行)

- (30) 복구예산의 ‘선(先) 지원, 후(後) 정산’은 여전히 요원한 얘기이고 이에 따라 곳곳에서 집단민원이 터져 나오는 등 후유증이 심각하다.

復旧予算の‘先支援、後清算’はまだ遙か先の話であり、これによりあらゆる層から集団嘆願が急増するなど後遺症も深刻である。

(東亜日報、2003年10月10日、7BA03B01.txt、3138行)

- (31) ~“군 지휘관과 책임자 문책은 잘잘못을 먼저 따진 뒤 해야 한다”며 ‘선(先)조사-후(後)문책’을 강조했다.

~“軍の指揮官と責任者への問責は責任所在が明確になってからでないといけない”とし‘先調査-後問責’を強調した。

(東亜日報、2002年、6BA02B13.txt、557行)

【句の結合例】

- (32) 그렇지만 노 후보와 한 대표는 이날 “서로간에 큰 이견이 없다”며 선(先) 후보직 사퇴 문제를 둘러싼 과문을 진화하는 데 주력했다.

しかし、盧候補と韓代表はこの日“互いに大きな異見はない”と先候補職辞退問題を巡る波紋を鎮火することに力を注いだ。

(東亜日報、2002年、6BA02B25.txt、275行)

- (33) 버스업계가 신형 천연가스 버스 값이 기존 경유 버스보다 3천만원 이상 비싸자 ‘선(先) 버스료 인상’을 요구하며 도입을 외면하고 있기 때문.

新型LNGバスの価格が既存の軽油バスより3千万ウォン以上高いことから、バス業界が‘先バス運賃値上げ’を要求し導入を遅らせているため。

(中央日報、2000年4月25日、5BA01D03.txt、897行)

- (34) 그러나 북한의 선(先)대화 제의 가능성은 작다는 분석들이다.

しかし、北朝鮮の先対話提議の可能性は低いという分析だ。

(中央日報、2002年、BRAD0187.txt、1443行)

- (35) 한나라당 박희태(朴熺太) 의원은 “연말까지 비준안을 처리하지 않는다고 하늘이 무너지는 게 아니다”며 ‘선(先) 농민 설득, 후(後) 비준안 처리’를 해야 한다고 주장했다.

ハンナラ党の朴熺太議員は“年末までに批准案を処理しないからってこの世が終わるわけでもない”と発言し、‘先農民説得、後批准案処理’を行うべきであると主張した。

(東亜日報、2003年12月30日、7BA03B01.txt、8783行)

(29)～(35)の例では、「선(先)」に名詞の一種(VN)や名詞の連続からなる句が結合しているため、接頭辞として使用されているように見えるが、実質的には「先に」という意味の副詞化が起こっている。しかし、「선(先)」に副詞としての定義は存在せず、助詞を結合させても副詞化することはできない。「先に」という意味を表すためには(28)の「～“재신임을 묻기 전에 후보를 먼저 사퇴해야 한다”」や(31)の「～“군지휘관과 책임자 문책은 잘잘못을 먼저 따진 뒤 해야 한다”」ように、固有語の副詞「먼저」などを用いるしかない。

単音節の「先」が副詞として機能するのは中国語における用法であり、このような「선(先)」の用法は、韓国語の中で度々確認される漢文調の文語体に起因するものと考えられる。非口語的な表現であることを確認するため、世宗コーパスに収録されている口語データ(日常会話、講演など。2001年から2005年間に収集された現代語。大きさは805,646語節。)から(29)～(35)の類を検索したが、該当例は確認できなかった。

もう一つの特徴は(30)、(31)、(35)の例で確認できる「후(後)」の存在である。この「후(後)」も「後に」という意味で副詞として使われており、「선(先)」と同様、漢文調の文語体表現と考えられる。実際、韓国語の「후(後)」には副詞としての定義も接辞としての定義も存在しない。「선(先)」との共起も特徴で、「후(後)」は本研究で使用した新聞データの中から全27例が確認できるが、その内21例が(30)、(31)、(35)のように「선(先)」と共起し、「先にAをし、後にBをする」という文を構成している。

但し、別の視点から考えると、表記の結果から書き手が「선(先)」に後続する語を一語の名詞でないと正確に認識したか否かを確認できる方法は存在しない。既に表記された文章の中に出現する語彙が単語なのか句なのかを判断するためには、わかち書きの結果を見るしかない。

韓国語のわかち書きは「単語と単語をわかち書きする」という原則に基づいているものの、書き手が該当語彙の意味の他、統語的構造までをきちんと理解していないと規定どおりの書き方ができなど、システムとして不完全な部分が多い。どこまでを単語として区切るかに関する規則が複雑であり例外事項も多いため、誤用が頻発するという問題が度々指摘されている。

音韻論的観点では、이선영(イ・ソンヨン)(1998)などで述べられているように、構成要素間の休止の存在、/t/、/n/などの音素の挿入、構成要素の結合前後の強勢や高低アクセントの変化などが合成語であるか否かを判断する材料になり得る。しかし、観点を表記に限定すると、文の中に出現した語彙が単語か否かを判別できる材料はわかち書きの結果のみである。実際(29)～(35)の例でも「선(先)」に後続する語彙との間にスペースがある場合とない場合が混在しており、「선(先)」を合成語の一部である接辞として認識していたのか文の一部である副詞として認識していたのかを区別することはできない。

국립국어연구원(国立国語研究院)(2001)の報告では、文章作成において一般の韓国語母語話者より産出された誤用の約7割(8791件中5829件)がわかち書き関係であると

記している。本研究でも調査対象にしている新聞記事を研究材料に、計量的な研究によってわかち書きの誤用を指摘しているものでは이주행(イ・ジュヘン)(2003)、김지연(キム・ジヨン)(2006)などがある。両方とも複数紙の数千件に及ぶ誤用例を確認し、特に合成語や句のわかち書きで誤用が頻発していることを指摘している。

つまり「선(先)」が漢字表記された場合、これは事実上の副詞であり、「후(後)」との共起で「先に A をし、後に B をする」という文を産出するための漢文調の文語体表現である可能性が非常に高い。但し、韓国語のわかち書きシステムの不完全さから、書き手が「선(先)」を接頭辞として認識した結果なのか副詞として認識した結果なのかを区別することはできない。

3.3.2 「사(社)」の助数詞化

3.3.1 で「선(先)」の定義外の使用例を多数確認できたのと同様に、「사(社)」も本来の定義には存在しない助数詞として使用例が 39 例確認されている。「社」を助数詞として用いるのは日本語における用法であるが、次の(36)、(37)の例文で確認できるように、韓国語の文でも「社」または「개社」(個社)の形で助数詞の役割を果たしている。後者の「개社」(個社)は助数詞「개(個)」に接尾辞「사(社)」が結合した形であると解釈できる。

- (36) 코스닥 14社...내달 보호예수기간 끝나
 コスダック 14社...来月に保護予受期間終了
 (朝鮮日報、2002年、6BA02A03.txt、1288行)
- (37) ***뉴코아 인수에 59개社 참여
 ***ニューコア百貨店の買い取りに 59個社が参加
 (中央日報、2002年、6BA02D02.txt、140行)

副詞化した「선(先)」に比べ、助数詞化した「사(社)」はその出現数が極端に多くないことや「개社」のように「사(社)」を接辞として分離できる形が混在していることから、「사(社)」の漢字表記には本来の接尾辞としての役割に新たに助数詞としての使い方が追加されたものと理解することが妥当と考えられる。

4. まとめ

本研究では現代韓国語の漢字表記をテーマに、派生語において構成要素である派生接辞のみを漢字表記する現象に注目し、コーパスの実例を観察、分析することで以下のことを確認した。

- ① 派生接辞の漢字表記の主な目的が、接辞自身の意味的透明度を高め、同一品詞の

同音異義語を回避することではないこと。

- ② 派生接辞の漢字表記は文章中に新規の派生語が存在することを読者に知らせることを目的にした一種のマーカである可能性があること。
- ③ 一部の派生接辞では接辞としての定義外の使用例が多く見られること。

但し、接辞の漢字表記によって、該当派生語の構造（形態素の区切り）を読者に認知させ、派生語全体に対する意味理解の手がかりを増やしていることを考慮すると、最終的に派生語全体の意味的透明度を高めることに貢献しているとも解釈できる。②は接辞のみが漢字表記された派生語の約 9 割以上が新規派生語であったことを主な理由とする。③は韓国語の内部的変化なのか、外国語の影響やわかち書きのシステムの不完全さなどが合わさった複合的な要因に起因する誤用なのかまでは判断できないため、今後の課題として追加研究を必要とする。

〔註〕

- (1) 本研究では国立国語院提供の標準国語大辞典の WEB 版を使用した。
(<http://stdweb2.korean.go.kr/main.jsp>)
- (2) 初等学生 4 年生のグループを対象に、普段彼らが使用している 4 科目の教科書に使われた漢字語の指導を行った。指導の際に、漢字語を構成する漢字の指導を並行したことで、被験者の漢字語の理解が改善されたと報告している。
- (3) 中学生 1 年生のグループを対象に漢字語の数学用語の指導を行った。指導の際に、用語を構成する漢字の指導を並行したことで、被験者の数学用語の理解が改善されたと報告している。
- (4) 工業系高校の 3 年生のグループに、漢字語の電気工学の専門用語の指導を行った。指導の際に、専門用語を構成する漢字の指導を並行したことで、被験者の漢字語の理解が改善されたと報告している。
- (5) 出版物の発行部数を調査、公開している韓国 ABC 協会 (<http://www.kabc.or.kr/>) が一般公開している資料による。参照可能な最新のデータ（2010 年度の発行部数）では「朝鮮日報」1,810,111 部、「中央日報」1,305,936 部、「東亜日報」1,248,503 部、「ハンギョレ新聞」283,144 部。

参考文献

- 국립국어연구원(国立国語研究院) (2001) 『어문 규범 준수 실태 조사 II (語文規範遵守実態の調査 II)』
- 국립국어원(国立国語院) (2002) 『현대 국어 사용 빈도 조사 (現代韓国語の使用頻度調査)』
- 국립국어원(国立国語院) (2005a) 『현대 국어 사용 빈도 조사 2 (現代韓国語の使用頻度

調査 2) 』

국립국어원(国立国語院) (2005b) 『국어사용환경조사 (韓國語使用環境調査) (2005) 』

김선영(キム・ソンヨン) (2006) 「한자 학습이 전공용어 이해력에 미치는 영향 연구:

공업계 고등학교 교과서에 나타난 한자어를 중심으로 (漢字學習が専攻用語の理解力に及ぼす影響についての研究: 工業系高等学校教科書に使われた漢字語を中心に)」 한국교원대학교 교육대학원(韓國教員大學校 教育大學院、修士論文)

김지연(キム・ジヨン) (2006) 「신문에서의 띄어쓰기 실태 분석 고찰 (新聞におけるわかち書きの実態に関する分析と考察)」 충남대학교 교육학과 (忠南大學校 教育學科、修士論文)

윤석권(ユン・ソクォン) (2004) 「數學 用語의 漢字語 指導를 통한 理解도와 學業 成취度 研究: 數學 7段階를 중심으로 (數學用語의漢字語指導による理解度及び學業成취度の研究:數學7段階を中心に)」 여수대학교 교육대학원 (麗水大學校 教育大學院、修士論文)

이선영(イ・ソンヨン) (1998) 「合成名詞의 統辭的 意味 分類 研究 (合成名詞의統辭的意味分類研究)」 명지대학교 대학원 국어국문학과 국어학전공 (明知大學校 大學院 國語國文學科 國語學專攻、修士論文)

이주행(イ・ジュヘン) (2003) 「신문의 언어 사용 실태와 개선 방안에 대한 연구 (新聞の言語使用実態と改善方案に関する研究)」 『國語教育學研究』 Vol.16、pp.323-363、국어교육학회(國語教育學會)

이하규(イ・ハギュ) (1997) 「어말-어두 공기 정보를 이용한 한국어 어휘 중의성 해소 (語末-語頭共起情報を利用した韓國語語彙の重意性解消)」 『정보과학회 논문지 (Journal of KISS) (B)』 Vol.24 No.1、pp.82-89、한국정보과학회(韓國情報科學會)

진철용(ジン・チョルヨン) (2005) 「한자 습득이 한자어의 의미 파악에 미치는 영향 연구 (漢字習得が漢字語の意味把握に及ぼす影響に関する研究)」 한국교원대학교 대학원 (韓國教員大學校 教育大學院、修士論文)